平成27年度

社会人基礎力白書

大学生の就業力向上のために

公益社団法人 緑丘会
国立大学法人 小樽商科大学

平成27年度　社会人基礎力白書発刊にあたって

公益社団法人　緑丘会
理事長　　島崎　憲明

平素は当法人の活動にご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

私どもは内閣府より公益社団法人移行認定を受け、平成24年4月1日付で、公益社団法人緑丘会として第2のスタートを切りました。本年も、公益社団法人の行う公益目的事業として、国立大学法人小樽商科大学のキャリア教育開発部門と連携して、大学生の「社会人基礎力」養成及び「就業力」育成のために、平成26年度版「社会人基礎力白書」を刊行させていただきました。近年、新卒者の入社後3年以内の早期離職率が高まっていることが問題視されており、学生と企業の価値観のミスマッチの解消が急務とされております。そのような中、学生の資質・能力に対する社会からの要請や、学生の多様化に伴う卒業後の職業生活などへの支援の必要性が高まっております。経済産業省では平成18年より「社会人基礎力」の養成を目指した政策が推進されております。又、文部科学省においては、大学などが教育課程の内外を通じて社会的・職業的自立に関する指導などに取り組む体制を整えることについて、平成22年2月に「大学設置基準」が改正され、平成23年4月からすべての大学で取り組むことになり、各大学が教育課程内外にわたり大学生の「就業力」の育成などを目指す取り組みなどを総合的に支援するとしております。これらの時代の流れを踏まえ、私ども公益社団法人緑丘会は、公益目的事業として、国立大学法人小樽商科大学が推進するキャリア開発教育および就職関連事業を支援しておりますが、その活動において大学生および企業から得られた情報をモデルケースとして分析し、多くの学生が卒業後の人生において、自己実現を図ることのできる豊かな充実した職業生活を送る力である「社会人基礎力」、「就業力」養成の一助となるよう、毎事業年度における「社会人基礎力」の調査結果を纏めた「社会人基礎力白書」の刊行・公開事業を行っております。

今後とも内容の充実を図って参りますので、広く学生・企業・教育関係者の皆様にご高覧いただき、「社会人基礎力」の一層のご理解と向上に役立てていただければ幸いに存じます。

「社会人基礎力」とは
（出典：経済産業省ホームページより）

近年、我が国の産業社会を取り巻く環境は大きく変化しているといわれています。国内市場は成熟化し、グローバル競争の激化により商品サイクルの短期化がもたらされ、企業は「新しい価値のある商品やサービスをいかに早く作り出すか」が強く問われるようになりました。また、IT化の進展に伴い、資料配布やデータ集計といった職場における単純な作業は、機械化や自動化が進み、企業の若手に対しても、当初から難易度の高い仕事が期待されるようになりました。その結果、新しい価値創出に向けた課題の発見、解決に向けた実行力、異分野と融合するチームワークなど、彼らが持てる知識を社会で十分に発揮するために求められる基礎的な能力の必要性が顕在化しました。他方、従来「自然に」それらの能力を磨く場として存在してきた家庭や地域社会の教育力が低下し、部活動や集団活動への参加が低下するなどにより、若者の間で、このような基礎的能力のばらつきが拡大し、また、そのような能力と学力との相関関係が弱くなってきていることも指摘されるようになりました。こうして、将来の日本を支えるべき若者が社会の変化に対応できるよう、意識的に上記で指摘したような能力を育成していくことの重要性に多くの人々が気付き始めました。そこで経済産業省では、平成17年7月、産学官から有識者を集めた「社会人基礎力に関する研究会」を開催し、幅広い議論の上で、平成18年2月、職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事をしていくために、必要な基礎的な力を「社会人基礎力」と名付け、その定着や育成・評価、活用等のあり方について考え方の整理を行いました。

「社会人基礎力」は、社会で求められる力の全てではありません。人の社会での活動には、思いやりや公共心、倫理観、基礎的なマナー等の「人間性、基礎的な生活習慣」の土台がまず必要です。その上に、読み書き・計算、基本的なITスキルといった「基礎学力」や仕事に必要な知識や資格等の「専門知識」があります。それらを多くの人とのかかわりの中で活用し、成果を生み出すために必要と考えられる力に焦点を当て、誰にでもわかる言葉で定義したものが、この「社会人基礎力」です。

「社会人基礎力」３つの能力と１２の能力要素

□ 前に踏み出す力（アクション）

一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力

- 主体性：物事に進んで取り組む力
- 働きかけ力：他人に働きかけ巻き込む力
- 実行力：目的を設定し確実に実行する力

□ 考え抜く力（シンキング）

疑問を持ち、考え抜く力

- 課題発見力：現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 計画力：課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- 創造力：新しい価値を生み出す力

□ チームで働く力（チームワーク）

多様な人々とともに、目標に向けて協力する力

- 発信力：自分の意見をわかりやすく伝える力
- 傾聴力：相手の意見を丁寧に聞く力
- 柔軟性：意見の違いや立場の違いを理解する力
- 情況把握力：自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する能力
- 規律性：社会のルールや人との約束を守る力
- ストレスコントロール力：ストレスの発生源に対応する力

「社会人基礎力」３つの能力と１２の能力要素のイメージ

□ 前に踏み出す力（アクション）

一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力

- **主体性**：指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む。
- **働きかけ力**：「やろうじゃないか」と呼びかけ、目的に向かって周囲の人々を動かしていく。
- **実行力**：言われたことをやるだけでなく自ら目標を設定し、失敗を恐れず行動に移し、粘り強く取り組む。

□ 考え抜く力（シンキング）

疑問を持ち、考え抜く力

- **課題発見力**：目標に向かって、自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案する。
- **計画力**：課題の解決に向けた複数のプロセスを明確にし、「その中で最善のものは何か」を検討し、それに向けた準備をする。
- **創造力**：既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える。

□ チームで働く力（チームワーク）

多様な人々とともに、目標に向けて協力する力

- **発信力**：自分の意見をわかりやすく整理した上で、相手に理解してもらうように的確に伝える。
- **傾聴力**：相手の話しやすい環境を作り、適切なタイミングで質問するなど相手の意見を引き出す。
- **柔軟性**：自分のルールややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し、理解する。
- **情況把握力**：チームで仕事をするとき、自分がどのような役割を果たすべきかを理解する。
- **規律性**：状況に応じて、社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律する。
- **ストレスコントロール力**：ストレスを感じることがあっても、成長の機会だとポジティブに捉えて肩の力を抜いて対応する。